



② 日月神社跡



日月神社は、現在、八幡神社に合祀されています。そのため、神社の姿を目にすることができません。明治3年11月に奈良橋村から当時の斐山県に提出した記録があり、神社の大きさは正面、奥行き共に4メートル弱

④ 地盤沈下観測所



東大和の地質と地盤沈下・地下水の状況を監視する施設です。この施設の深度62~66メートルからマガキ、深度221~226メートルからヒメアサリの化石が出土しました。

⑦ 笠森稲荷



高木神社の前の道（清戸街道）を約200mほど東方へ向かうと左側に石垣が続き、道を挟んだ一角にまつられています。天保七年（1836）に伏見稲荷の別当寺である愛染寺から勧請してきたのだそうです。「向こう横丁のおいなりさんへ・」と唄います。

⑧-1 高木神社



祭神は記念碑では高皇産霊神（たかむすびのかみ）『狭山の栞』では手力雄命（たじからのおのみこと）高木神社を挟んで北側に志木街道が、南側に清戸街道が通ります。

⑧-2 高木神社の歴史



社名は中古尉殿大権現（じょうどのだいごんげん）明治2年（1869）尉殿大神（じょうどのおおかみ）明治13年（1880）高木神社（たかぎじん

じゃ）高木神社の創建は不明です。

⑧-3 高木の獅子舞



江戸時代より、毎年九月十九日の高木神社の祭礼に奉納されました。悪疫が流行したとき、その退散を祈願して踊られたのが始まりと伝えられています。

⑨ 塩釜神社



高木神社の東側に塩釜神社が祀られています。安産の守り神・「高木のシオガマ様」と市内外から頼りにされ、子供を抱いた夫婦がお礼のお参りをする姿が見られました。

⑩ 高木神社社務所



江戸時代、高木神社境内、現在の社務所のところに明楽寺という寺がありました。円乗院住職の隠居寺と云われます。高木神社（江戸時代の尉殿権現社）を別当として管理していました。明治の神仏分離令で廃止になりました。





うまべえ

つるし飾りコース

定番コース ⑰

- 1 奈良橋市民センター
- 2 日月神社跡
(殉国慰霊塔)
- 3 日月橋
- 4 一中裏
(地盤沈下観測所)
- 5 空堀川旧川遊歩道
- 6 高木橋
- 7 笠森稲荷
- 8 高木神社
- 9 塩釜神社
- 10 社務所
(明楽寺跡)
つるし飾り見学
- 11 市民センター



つるし飾り見学と奈良橋・高木コース 2月8日

2 日月神社跡



4 地盤沈下観測所



7 笠森稲荷



8 高木神社



9 塩釜神社



10 社務所

